

C12 反対。「つまり」というのは、やじるし
ということをくわしく言うために使って
いると思います。

ここでは、意味段落の中心文を予想させた
のであるが、C₇のように「このように……」
の文をあげた者は14名いた。

これは、「記号とはどんなものか」という本
時の課題に対して、「……を記号といいます。」
と、直接答えるかたちで出ていることや、第
1、第2段落が具体的な例であるのに対し、
第3段落の「このように……」の文がまとめ
ているような抽象的な書き方をしていること
などの理由で目をつけたようである。それに
C₈の発言のように、「このように」という、前
に述べたことをまとめるはたらきをする指示
語がついていたことも選ぶ理由になったので
あろう。

C₁₀の発言は、「つまり」という接続語に目をつ
けた選択であるが、同じような選択をした
者が12名ほどいた。これは、「つまり」という
接続語のはたらきと同時に、「つまり、このや
じるしは、図書室へ行くにはどう行けばいい
かを表しています。」という文の表現のしかた
が、それまでの具体的な書き方とちがって半
抽象的な説明調でまとめていることのも
理由もあるのではないだろうか。

こうしてみると、中心文の選択の際、やや
抽象的な、まとめを表すような文や、指示語
・接続語のはたらきに目を向けているように
思える。

④ 第1段落の読みとり

T₈ みんなの選んだ大事な文が、それでい
いかどうか調べていきましょう。

第1のまとまりには、3つの段落があ
りますが、それぞれの段落には何のこ
とが書いてありますか。読んでみましょう。

C (黙読)

T₉ 第1段落はまとめていうと、どんなこ
とが書いてあるでしょう。

C₁₃ 記号のこと。

C₁₄ 学級のろう下で、図書室はどこかと聞
かれたときのこと。

C₁₅ 人に聞かれたとき、「こちらです。」と指
さしたりすること。

C₁₆ 図書室に行くにはどう行けばいいか。

C₁₇ 図書室を聞かれたら、指でさしたり、
ことばで言ったりする。

C₁₈ 聞かれた場所のこと。

T₁₀ 図書室はどこかと聞かれたときのこと
だね。

そういうとき、どうやって教えるとい
っていますか。

C₁₉ 図書室の方を指さしたり、ことばで言
ったりして教える。

T₁₁ さしたり、言ったりして、その人に教
えるんだね。(板書)

その人というのは、だれですか。

C₂₀ きいた人です。

C₂₁ 図書室はどこかと聞いた人。

C₂₂ 図書室のある場所を聞いた人。

T₁₂ だれが教えるのですか。

C₂₃ わたしたち (賛成)

T₁₃ 何を教えるのですか。

C₂₄ 図書室のあるところ。

C₂₅ 図書室の方角。

C₂₆ 図書室のある方向。

C₂₇ 図書室のある場所。

第1段落は、図書室のある場所を教えるこ
と、動作やことばで教えることについて書いて
あるが、児童の発言にも見られるように、
書いている事柄についてはだいたいとらえら
れるようである。

「その人」がどの人をさしているかについ
ても表現の差こそあれ、適切にとらえている
が、これは、「その人」のように「人」と限定
していることや、この段落が具体的な場面で
わかりやすいことなどの理由によるものであ
ろう。

「その人に教えるのはだれか」という主語
を指摘する問いや「何を教えるのか」という
問いに対しても、多くは、正しい答え方をし
ている。

それが、「どんなしかたで教えるか」という
発問に対しては、①さしたり、②言ったりの
2つが指摘できないものがかつりいた。これ
は、文章を最後までいいいに読まずに答える
ためや、「……たり」がつく場合、同格の事
柄が続くことを知らなかったためかとも考え